

視 察 報 告 書

報告者氏名 小沢 えみり

1 会 派 名
流 政 会

2 期 日
令和 7 年 1 月 2 7 日（月）

3 視 察 地 及 び 調 査 事 項

岡崎市「東岡崎駅周辺地区整備事業」および「北東街区有効活用事業」 について

4 所 感 等

今回の視察では、岡崎市役所を訪れ、「東岡崎駅周辺地区整備事業」と「北東街区有効活用事業」などについて詳しい説明を受けました。

東岡崎駅周辺地区整備事業では、駅周辺の利便性向上と地域活性化を目的に、多岐にわたる取り組みが行われていることがわかりました。

特に、駅舎の橋上化により東西両側に改札口を設け、自由通路を整備する計画が進められており、駅のバリアフリー化や交通結節機能の向上が図られています。

これにより、地域住民や観光客の利便性が大きく向上するだけでなく、東西の地域間交流が促進されることが期待されています。さらに、駅前広場では交通混雑の解消を目指し、タクシー乗り場や一般車乗降場の配置を見直し、利用者の動線をスムーズにする工夫がされていました。この事業の象徴ともいえるロゴマークは、まちの回遊動線「Q U R U W A」の拠点エリアの1つである東岡崎駅エリアとのつながりを強調するデザインとなっており、「Q

「URUWA」のロゴをベースにしたもので、具体的には、「HIGOKA」の頭文字「H」と、車の車輪をイメージしたモチーフが取り入れられています。

このデザインには、駅を中心とした地域のつながりと発展、そして動き続ける街の象徴というメッセージが込められているとのことでした。視覚的にもわかりやすく、地域のアイデンティティを表現している点が非常に印象的でした。

また、駅周辺の住民や事業者が主体となって活動する「ひがおか連合」についてもお話を伺いました。

この組織は、住民や事業者が行政と連携しながら、地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを進めています。

地域住民の声を取り入れながらイベントやキャンペーンを実施するなど、地域全体で協力して街を盛り上げている姿勢が、まちづくりの良いモデルケースとして非常に参考になりました。

北東街区有効活用事業については、駅北東に位置する市有地を活用し、「人と乙川を結ぶ『にぎわいと憩い』が共存し、都市に活力を生む魅力ある空間」を創出するための計画が進められていると説明を受けました。この事業では、民間資本や事業者の活力を活かし、商業施設や公共空間を整備することで地域のにぎわいを生み出し、市民の憩いの場を提供することを目指しています。

特に、乙川との接続を意識した設計が特徴的であり、自然と都市が調和する空間づくりが注目されました。

市民や観光客が楽しめる「にぎわいの核」となる施設が計画されており、地域経済への波及効果も期待されています。

これらの取り組みを通じて、岡崎市が行政、住民、事業者が一体となり、地域資源を最大限に活用しながら、地域全体を盛り上げるための持続可能なまちづくりを進めていることがよくわかりました。

特に、「QURUWA」の考え方を軸にした地域間のつながりの強化や、「ひがおか連合」のような住民主体の取り組みは、他自治体にとっても非常に参考になる事例だと感じました。

本市でも、これらの事例を参考にして、地域特性を活かした持続

可能なまちづくりを進めていくことが重要であると強く感じました。

視 察 報 告 書

報告者氏名 笠原 久恵

1 会派名
流政会

2 期 日
令和7年1月29日（水）

3 視察地及び調査事項
小牧市「小牧駅周辺イルミネーションについて」

4 所感等

小牧駅周辺イルミネーションについて視察いたしました。

小牧市の人口は、流山市の2／3の約15万人、面積は、流山市の1.8倍の約63㎢です。

今回のイルミネーションは、小牧市地域活性化営業部シティプロモーション課が担当課です。イルミネーションの設置は、年間3回クリスマス、正月、バレンタインなどのイベントで行っており、市が主催で行います。

運営費は市の予算を財源とし、委託料1000万円、プロポーザル費4万円としています。今までは、企業協賛金の募集をしていなかったそうですが、次年度からは何らかの企業協賛など検討するとのことでした。お金以外の協賛については、令和6年度は小牧市青年会議所のクリスマスツリーがあったとのことでした。

運営業者は、指名型のプロポーザル方式であり、7～8社に声を掛けたところ、2～3社が参加したとのことでした。審査委員会で審査し、運営業社を決定する流れということですが、今後は公募型のプロポーザルへの変更を検討するそうです。

業務の経歴、業務の内容、業務の実施体制、本業務への意欲その

他イルミネーションの設置・撤去、デザインでの審査をします。その他のイベントは、毎年3月から4月に桜祭りでキッチンカーの出店、チャンバラ合戦体験があります。

8月には、太鼓の発表、ラピオでのこども縁日や宵祭りを開催しており、4両の提灯がたくさんついている山車は、文化財となっています。

9月には、小牧山で夢夜会を開催します。ターゲットは女性の大人としたイベントであり、イルミネーション、お酒の提供もあります。

10月には、小牧市民まつりを開催しています。市民や企業のブース、ダンスやパレード、学生のブラスバンド、ハロウィン関連の展示も行っています。

現地でのイルミネーションも視察いたしました。駅前広場と駅前通りへのイルミネーションは、とてもきれいでした。駅前広場は、SNS映えする「KOMAKI 70」市政70周年記念展示もありました。

流山市でも、毎年11月から流山おおたかの森駅でイルミネーションを点灯させています。過去には、流山セントラルパーク駅前でも小規模に点灯していました。

流山市は、つくばエクスプレスの沿線の区画整理や駅前の再開発もまだ進行中ですので、市民が楽しめるイルミネーションについて研究してまいります。